

《速報》東北映像フェスティバル 2017

2017年6月15～16日の二日間、「杜の都」宮城県仙台市の仙台国際センター 展示棟にて、一般社団法人 東北映像制作社協会（理事長：(株)ミヤギテレビサービス 専務取締役 柴森則夫）主催による「東北映像フェスティバル2017」『映像機器展・映像コンテスト』が開催された。

一昨年までは仙台駅東側の仙台サンプラザホールにて行われていたが、昨年から、よりスペースの広い仙台駅西側の仙台国際センターにて出展社数を72社に増やして行われた。

開催期間中は東北各県のテレビ局関係者、映像・コンテンツ制作や、映像に関心を持つ一般客で、1,387人の来場者があり。来場からは将来を見据えた多種多様な映像表現のツール等を見ることは大変有意義で、大変参考になったとの感想も多く寄せられている。

また、同時開催した「東北映像フェスティバル2017 映像コンテスト」では、以下の受賞作品が決定した。

【番組部門】

●大賞：作品「やまがたクラフトストーリー」／制作 (株) プライド・トゥ

●優秀賞：作品「希望のレール～被災地へ燃料を！鉄道マンの挑戦記～」／制作 (株) 東北朝日プロダクション

【地域振興コンテンツ部門】

●大賞：作品「盛岡ブランドプロモーション動画「もりおかって、いいなあ」」／制作(株) フロムいわて

●優秀賞：作品 KITAKAMI CROSSING PLACE／制作 北上市、(株)トラストバンク

●特別賞：作品 秋田県湯沢市副市長ラップ2016「湯沢ストリートブラッ!! 改」／制作 湯沢ストリート村

【CM・キャンペーン部門】

●大賞：作品 「仙台白百合女子大学 TVCM「なりたい女性に私はなる」篇」／制作 (株) アックスウィン

●優秀賞：作品「牛タン焼き専門店「司」ギフト篇 夏」／制作 (株)ミヤギテレビサービス

【学生部門】

●大賞：作品 里まちなとり ～海、山、街の恵み～／制作 尚綱学院大学総合人間科学部表現文化学科 大野ゼミ

●優秀賞：作品 「Rhythm Game」／制作 岩手大学 教育学部芸術文化課程 美術・デザインコース 木村 望

【デジタルコンテンツ部門】

●大賞：作品 a la Date Voyage Winter 英語版／制作 (株)アックスウィン

●優秀賞：作品 公立置賜総合病院 ～あなたの夢を叶えたい～／制作 (株)プライド・トゥ

主催：一般社団法人東北映像製作社協会

共催：東北情報通信懇談会

後援：総務省東北総合通信局、経済産業省東北経済産業局、宮城県 仙台市、NHK 仙台放送局、東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ 東日本放送、日本ケーブルテレビ連盟東北支部、映像新聞社

協賛：日本映画テレビ技術協会、日本照明家協会、情報通信月間推進協議会

出展スペース

出展企業一覧

※五十音順 ※番号が重複している箇所は共同出展となります。

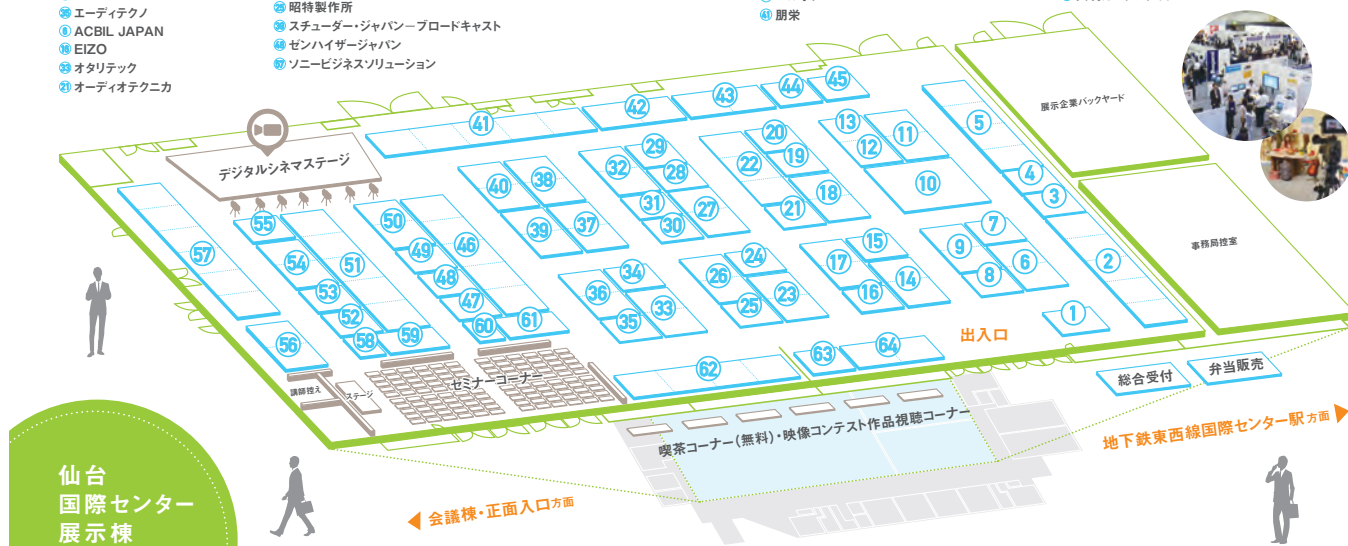
撮影から編集・演出・ライブ配信、そして中継と映像制作に関するあらゆる機器を一堂に集めた東日本唯一の映像に関する総合機材展です。

- | | | |
|----------------------|------------------------|---------------|
| ① アイ・ディ・エクス | ②③ カナレ電気 | ④ 立井電機 |
| ⑤ アイ・ディ・ケイ | ⑥ キヤノンマーケティングジャパン | ⑦ ティアック |
| ⑧ ASK ME / D STORM | ⑨ 共信コミュニケーションズ | ⑩ テクノハウス |
| ⑪ ASK ME / AJA VIDEO | ⑫ 共栄商事 | ⑬ デジタル・ラボラトリー |
| ⑭ アストロデザイン | ⑮ グラスバレー | ⑯ 東京光音 |
| ⑰ アビッド・テクノロジ | ⑱ クロスイメージング | ⑲ ニコンシステム |
| ⑳ アルピクス | ㉑ クロマトックシステムズ | ㉒ 日興通信 |
| ㉓ イメージニクス | ㉔ コスミックエンジニアリング | ㉕ 日鐵住金溶接工業 |
| ㉖ 伊藤忠ケーブルシステム | ㉗ 興和光学 | ㉘ 日本電気 |
| ㉙ インターテック | ㉚ サークル | ㉛ 日本ビデオシステム |
| ㉜ エヌ・イー・ピー | ㉜ シグマシステムエンジニアリング | ㉝ ノイトリック |
| ㉞ エーティコミュニケーションズ | ㉞ ジャパンマテリアル | |
| ㉟ エーディテクノ | ㉟ 昭特製作所 | |
| ㊱ ACBIL JAPAN | ㊱ スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト | |
| ㊲ EIZO | ㊲ センハイザー・ジャパン | |
| ㊳ オタリテック | ㊳ ソニービジネスソリューション | |
| ㊴ オーディオテクニカ | | |

デジタルシネマステージ
ビデオサービス

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① バナソニックシステムソリューションズジャパン | ① 三菱ケミカルメディア |
| ② 花岡無線電機 | ② 三友 |
| ③ ビデオロン | ③ 緑屋電気 |
| ④ ヒビノ | ④ 武蔵エスアイ |
| ⑤ PFU | ⑤ 武蔵オプティカルシステム |
| ⑥ フォトロン | ⑥ MEDIAEDGE |
| ⑦ フォントワークス | ⑦ リーダー電子 |
| ⑧ ブラックマジックデザイン | ⑧ ローランド |
| ⑨ プロスパー電子 | |
| ⑩ 富士フイルム 記録メディア事業部 | ⑩ 日本照明家協会 東北支部 |
| ⑪ 富士フイルム 光学電子映像事業部 | ⑪ 日本映画テレビ技術協会 |
| ⑫ 富士ライト商事 | ⑫ VRソリューション ジョリーグット |
| ⑬ ベルボン | ⑬ 大判カメラブライダル |
| ⑭ 朋来 | |

様々な最新の機材が勢揃い!!
実際に撮影を試せる
デジタルシネマステージもあります



スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト

LAWO 社製オールインワンIP ベースの統合型プロセッサ「V_remote4」、マルチビューワーコントローラ「the WALL」、NTT エレクトロニクス製「H.265/HEVC 4K エンコーダー&デコーダー」などを紹介。IP の優位性を生かして信頼性が高く遅延の少ない高品質な映像伝送を提案した。



LAWO 「V_remote4」

■LAWO 「V_remote4」:WAN ベースのリモートプロダクションであり、ビデオ信号とオーディオ信号をIP ベース(ST2022-6) で伝送処理できる統合型プロセッサV_Line シリーズのV_remote4 は、ビデオ信号とオーディオ信号の処理と転送などすべての要件に対応するオールインワンソリューションを提供できるように設計されている。VoIP コーディングから、さまざまな監視から処理ツールまでのアプリケーションが含まれている。また、マルチビューワーコントローラ「the WALL」は、複数メーカーのマルチビューワを同時にコントロールできる。

■NTT エレクトロニクス HD/SD デコーダ「HC10000D/HC11000D」/4K/HD/SD デコーダ「HC10000D-4K/HC11000D-4K」:高機能、高信頼、10bit 4:2:2 HEVC、



H.264/AVC, and MPEG-2 デコーダ。

10bit 4:2:2/4:2:0 for HDTV/SDTV、4K (4K モデルのみ) に対応。H.265/HEVC、H.264/MPEG-4 AVC、MPEG-2 Video に対応。超低遅延に対応。アンシラリデータ伝送可能。FEC、ARQ に対応したIPv4、IPv6 マルチキャスト/ユニキャスト伝送可能。シームレスプロテクション (パケット補完) 機能搭載。操作作用とTS over IP 用にそれぞれ専用のEthernet ポートを二つずつ搭載。電源二重化 (HC11000D/HC11000D-4K) などの特長をもつ。

朋 栄

次世代映像制作に欠かせない各種新製品・ソリューションを展示。主な展示内容は以下の通り。

1. スタジオサブコーナー

■ビデオスイッチャ「HVS-2000」/コントロールパネル「HVS-33550U」:4K ライブ制作に対応する3M/E 拡張カードや、4K2SI で動作可能な3D DVE など、拡張性にすぐれたビデオスイッチャ。モジュール構造を採用した新開発のコントロールパネル「HVS-33550U」も展示

■ビデオウォールソリューション「FLEXaVISION™」:スイッチャによるDVE やPinP などの画面効果と、CG による多彩な表現を1つのGUIで統合制御可能なビデオウォールソリューション。2画面を1画面としてシームレスに取り扱うことが可能。

■12G-SDI 対応マルチビューワ「MV-4200」:最大68入力8出力114ウィンドウ表示が可能なマルチビューワ。オプション



12G-SDI 対応マルチビューワ「MV-4200」

で12G-SDI 最大10入力を実現。HDMI 2.0 LEVEL B 対応により、HDMI ケーブル1本で4K 出力が可能。

■ワンタッチコントローラ「OTC-1000」:キューシートによる素材管理により、進行順リストに従った送出運用が可能。(協力:㈱リバアフィールド)

2. ファイルベース関連コーナー

■マルチチャネルビデオサーバ「MBP-500VS」:複数系統の動画送出・インジェストを独立制御可能なビデオサーバ。1つのコデーックあたり、入力x1、出力x2のSDIを装備。ハードウェアの組み合わせにより、4、6、8系統の3モデルから選択可能。各系統ごとに、プレイアウト・インジェストのアサインが可能で、オプションにより4K 送出にも対応。

■高性能サーバシステム「EditShare Energy シリーズ」:関連会社のビジュアル・グラフィックス(株)(東京都渋谷区)が取り扱うコストパフォーマンスに優れた高性能サーバシステム。3U/4Uのシステムを選択でき、それぞれ1台のJBOD 拡張が可能。4TBのドライブ構成では、ニアラインSAS仕様となり、更なるパフォーマンスを実現する。

3. テロップコーナー

■4K キャラクタジェネレータ「VWS-4K」:ハードウェアを追加することなく、4K/HD 映像が混在するDB 環境の構築を実現する4K 対応キャラクタジェネレータ。4K 解像度(UHD)をリアルタイムレンダリング処理にて送出可



能。HD で制作したテンプレート素材を、4K テロップ制作テンプレートとして、簡単かつ4K 品質を保ってサイズの相互変換が可能。

■4K/HD キャラクタジェネレータ「EzV-300/300-FK」:3D エフェクト、動画送出機能など、「EzV-200HS」の多彩な機能に加え、2系統HD 出力が可能になったキャラクタジェネレータ。テロップ制作に抜群の操作性とパフォーマンスを実現。EzV-300-FK では、4K1 系統の送出にも対応。

■Thunderbolt™ 2 インターフェース「MBP-200TB2」:Thunderbolt™ ケーブル1本で接続したPCを活用し、ワークステーションやCG 専用機を使うことなく、テロップ、RCG、ビデオライタ、クリップサーバ動画送出などを実現。

4. 配信ソリューションコーナー

■モバイル型トランスミッタ「LIVE+EnGo」[Dejero 社]:中継先から携帯データ回線やWiFi 等を同時に活用した動画配信、クラウドを利用した配信ソリューションを提供。最大8系統のボンディングにより確実なライブ放送を実現。

アストロデザイン

4K コンバータボード「SB-4024」、easy MUX「CX-5528A-F」、マルチルートTS スプライザ「CX-5528A-S」などを展示した。

■「SB-4024」:4K とHD の入出力に対応した、解像度変換、フォーマット変換、色域変換が可能なコンバータボードで、2K ⇄ 4K、Rec.709 ⇄ Rec.2020、SDR ⇄ HDR をそれぞれ相互に変換できる。また、3D LUT を使用した色調変換もできる他、WOWOW 社製 WonderLookPro と連動も可能。



4K コンバータボード、4K ウェブフォームモニターなどの紹介コーナー

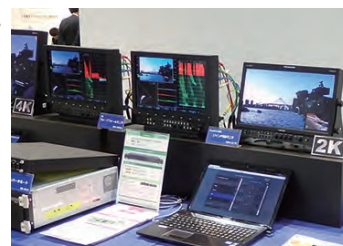
■「CX-5528A-F」: 素材の中継伝送用に特化したTS マルチプレクサへのPAT / PMT の作成・登録が不要になり、使い勝手が大幅に向上した。入力TS の PAT / PMT 構成に自動追従して、マルチプレクサ内部でPAT / PMT およびPID を再構成することで、各TS 入力の各program を1本のTS にMUX して出力することができる。また、プリセットパターンは最大16 個まで登録が可能のため、幅広い用途に対応できる。入出力レートは、最大213Mbps。

■「CX-5528A-S」: 各入力TS で指定した1 サービスのシームレス切り替えが可能で、プログラム番号やPID が異なる場合でも、シームレス切り替えができる。また、入力TS に以上を



知した場合、安定しているほうのサービスへの自動切替に加え、入力遅延差を吸収するための遅延量の設定も可能。

■その他、4K2K 映像専用のウェブフォームモニター「WM-3206B」、4K 対応17 型/24 型液晶モニター「OBM-U170 / OBM-U240」も展示した。



オタリテック

RIEDEL の最新ワイヤレス・インカム・ソリューション「Bolero」をはじめ、LAWO「mc²36」、OTARI「LWB」、GENELEC「SAMシステム」を中心に展示紹介。

■最新ワイヤレス・インカム・ソリューション RIEDEL「Bolero」: ライセンスフリーの1.9 GHz 帯を利用する拡張可能な DECT ベースのフルローミング・インカム・システム。RIEDEL「Artist」デジタル・マトリクス・インカム・プラットフォームと完全に一体化される「Bolero」は、優れたワイヤレス・ベルトパックとしてまたワイヤレス・キーパネルとして、そして業界初でウォークトーカー無線機としての3通りの使い方を実現できる豊富な機能と接続能力を備えている。AES67 規格準拠の IP ネットワーク上で動作し、分散型アンテナが AES67 スイッチに次いで AES67 クライアント・カード搭載の「Artist」フレームにつながって、シームレスなローミング能力を持つ一体型の1 対1 インカム・システムとなる。システムにとってベルトパックは RIEDEL 製のパネルのように見えるがそれはワイヤレスであり、柔軟にシステムを構築することが可能になっている。

明瞭度の高い「Bolero」のボイス・コーデックは優れた了解度を実現し、RF スペクトルをさらに有効利用できるようにして、他の DECT ベースのシステムと同じ音声帯域幅でアンテナが2 倍のベルトパックを扱えるようにした。このコーデックは優れた遅延特性を持つと同時に処理パワーを極めて効率的に利用し、ベルトパッ

ク・バッテリーの持ち長くし、DSP の処理パワーを他の機能用にセーブすることができる。

■オールイン・ワン・コンソール「LAWO mc²36」: DSP マイクロコアと I/O ボックス、コントロール・サーフェスがひとつになっており、そのコンパクトなサイズは限られた空間内での設置や輸送の多い現場に最適である。

■「OTARI LWB」(OTARI Lightwinder Broadcasting) シリーズ: 多様な要望に応え、周辺機器やモジュールも充実しており、多数の導入実績を持っている。

■GENELEC SAM (Smart Active Monitor) システムは専用インターフェイスを介してスピーカーをネットワーク接続し、専用ソフトウェア GLM™ (GENELEC Loudspeaker Manager™) を使ってネットワーク内のスピーカーを制御するシステム。多くの商用レコーディング・スタジオは理想のモニタリング環境を求めて、様々な設計・施工手法や吸音材等を使ってコントロール・ルームに特別なチューニングを施している。しかし、プロジェクト・スタジオやホーム・スタジオなど、よりコンパクトな環境ではルーム・アコースティックの調整は難しく、莫大な費用が掛かる。その問題を部屋自体に手を加えることなく解決できるのが GLM™ の主要機能 AutoCal™ である。

最適モニタリング環境の構築のために部屋を調整するのではなく、モニター・スピーカーを部屋に合わせて調整するという考えのもと、ス



RIEDEL「Bolero」の紹介コーナー(上)とコンパクトサイズの「Bolero」(下)

ピーカー自体を電氣的にフィルタリングして、どのような場所でも最適なモニタリング環境に変化させることが可能。

GLM™ の主要機能 AutoCal™ は、スピーカーが設置されている部屋の音響特性を専用マイクで測定。そのデータをホスト PC 内で分析し、再生レベル差補正、距離遅延補正、周波数特性補正を行い、最適なモニタリング環境(フラットな周波数特性)へ自動で音響補正でき、ユーザーの好みに合わせて細かいエディットも可能で、好みのモニタリング環境も作り出すことが可能となっている。

富士フイルム / 緑屋電気 / 武蔵オプティカルシステム

富士フイルム㈱では緑屋電気㈱、武蔵オプティカルシステム㈱と共同ブースにて出展。

フジノンレンズ放送用ラインナップの紹介をはじめ、LED フラットライト、ワイヤレスタリーシステム、マルチパーパス映像処理機、色管理総合ソフトウェアなど、スタジオ周りの各種製品を紹介した。

ブースにおいては、4K 対応の放送用レンズ「UA シリーズ」3 機種を発表。3 機種とも、画面周辺の解像力低下とあらゆる収差を抑えることで、ズーム全域で 4K 画質を実現している。

本年のNAB ショーにおいて発表したレンズ 3 機種は、小型・軽量のポータブルズームレンズ「FUJINON UA18×5.5」「FUJINON UA14×4.5」と、27 倍のスタジオズームレンズ「FUJINON UA27×6.5」であるが、従来からの 4K 対応の放送用レンズに 3 機種を加え、全 7 機種の充実したラインアップで、世界的に拡大する 4K 映像制作のニーズに応えていく。

また「UA18×5.5」「UA14×4.5」「UA27×6.5」の 3 機種は、画面周辺の解像力低下とあらゆる収差を抑えることで、ズーム全域で 4K 画質を実現した放送用ズームレンズであるが、そのうち「UA18×5.5」と「UA14×4.5」は、小型・軽量ボディによる高い機動性を実現したポータブルレンズで、近年の小型・軽量なカメラ「4K カムコーダー」の登場により、ますます増えることが見込まれる肩担ぎ



スタイルでの 4K 撮影で威力を発揮する。

「UA18×5.5」は、5.5mm～100mm の焦点距離を 1 本でカバーし幅広いシーンの撮影が可能。質量約 2.04kg ながら、広角 5.5mm から望遠 100mm までの焦点距離を 1 本でカバーし、報道や、各種番組制作のロケなどの機動力が必要とされる撮影現場にも対応する。

「UA14×4.5」は焦点距離 4.5mm の超広角レンズであるため臨場感ある撮影ができる。全長約 238.5mm の小型ボディで、超広角 4.5mm の焦点距離を活かし、スポーツ中継や、各種番組制作のロケなどで奥行きのある臨場感溢れる映像を撮影することが可能である。

「UA27×6.5」は、焦点距離 6.5mm～180mm までの 4K 対応の 27 倍ズームレンズで、同社独自の多層コーティング処理「HT-EBC (High Transmittance Electron Beam Coating)」を施し、高い透過率や色再現性を実現。最新の光学シミュレーション技術を活用し光学設計を新たに行い、画面周辺



マルチパーパス映像処理機、色管理総合ソフトウェアなど、レンズ以外の各種製品も紹介

の解像力低下とあらゆる収差を抑えることでズーム全域で 4K 画質を実現。9 枚絞り羽の採用により、円形に近い絞り形状となっている。広角 6.5mm から望遠 180mm をカバーするが、焦点距離を 2 倍に延ばすエクステンダー（焦点距離を延ばすレンズ）をレンズ本体に内蔵しており、エクステンダー使用時でも高精細な画質を維持しながら焦点距離を 360mm までカバーする。最大口径比 F1.5 の大口径レンズも搭載。また、ズームやフォーカスの位置情報などのレンズデータを高分解能で出力可能な 16bit エンコーダーを標準装備している。



UA18×5.5



UA14×4.5



UA27×6.5

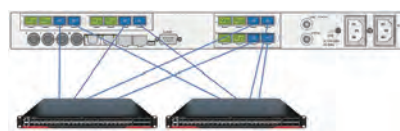
neviON Media Gateway to IP



Virtuoso シリーズ

3GHD-SDI 非圧縮、JPEG2000、TICO、ASI、H.264/AVC
Media Gateway, IP Aggregation, Monitor...

製造元：
Nevion AS



非圧縮 16 HD-SDI I/O、SMPTE2022-6 IP コーデック
+ eMerge 10Gbps スイッチ・40 Gbps データ・アグリゲーション、SMPTE2022-7 SIPS リダンダントバス構成

ビデオプロダクション、ビデオ長距離中継伝送、放送スタジオの IP 化ゲートウェイ各種インターフェースを取り揃えております。

Flashlink IP シリーズ

非圧縮マルチプレックス SDI
AES 67 IP オーディオ



輸入販売元：
ネットワークエレクトロニクスジャパン 株式会社 ●TEL:03-5542-3260 ●http://www.network-electronics.co.jp

グラスバレー

カメラコーナーではアドバンスド・イメージング・カメラシステム「LDX 86 XS」を展示紹介。またブースでは、4K 対応ノンリニア編集ターンキーシステム「HDWS 4K2」、共有ストレージシステム「K2 Central TX」、デジタルディスクレコーダシステム「T2 Elite 2」などをデモ展示したほか、マルチビューワー「Kaleido」、シグナルプロセッシング「Densite 3」、ノンリニア編集システム「REXCEED X2000」、リプレイシステム「K2 Dyno」などを出展した。

■「LDX 86 XS」: グローバルシャッター式CMOS センサーを搭載したLDX カメラシリーズの6 倍速ウルトラスロー対応最新モデル。豊富なアクセサリ群やユニークなクレドルスタイルのベースステーションXCU のコンセプトはそのままに、6 倍速対応に進化した。K2 Dyno リプレイシステムとの組み合わせによりパーフェクトなインスタントリプレイソリューションを実現する。

■「K2 Central TX」: K2 の技術を継承し

た新しい中規模向けプレイアウトシステム。収録・送出用途に最大5 台迄のK2 Summit クライアント接続で、全20 チャンネル・各100Mbps の帯域をサポートすることが出来る。EDIUS 編集クライアントとは、最大7 クライアント迄同時接続が可能です。ファイルマネージャー、ストレージ、ネットワークスイッチが一体化されており、導入から設定に至る迄非常にシンプルに設計されているため、パフォーマンスに妥協することなく、既設システムからのマイグレーションを実現することが出来る。

K2 Central TX はK2 Summit のFlexible Media Framework テクノロジーを活用することで、最適化されたストレージとして真の威力を発揮。K2 Summit、EDIUS 編集クライアント間においては、GbE ネットワークのみで直接接続を可能にする。ストレージには3.5 インチのドライブを搭載しており、収録・送出用途で必要とされる容量と帯域を十分にカバー出来る、費用対効果に優れたシステム。



ブースでは最新機種のデモが常時行われた



▲特設カメラコーナーにて展示紹介したアドバンスド・イメージング・カメラシステム「LDX 86 XS」▼



共有ストレージシステム「K2 Central TX」



デジタルディスクレコーダシステム「T2 Elite 2」



パナソニック

“つなぐ、使いこなす、拡張する”をコンセプトに、ユーザーニーズに応えた各種放送システムを出展。

カメラコーナーでは4K マルチパーパスカメラ「AK-UB300」、4K/HDR スタジオカメラシステム「AK-UC3000」などを展示。

また、自社ブースにおいてはプロアーカイブシステムやクラウドを使用した「P2 キャスト」とAVC ウルトラコーデック搭載P2HD メモリーカメラレコーダ「AJ-PX5000」をはじめ、NAB ショーで発表した360 度カメラシステム、4/3 型センサー搭載レンズ一体型4K カムコーダー「AG-DVX200」、1.0 型MOS センサー搭載4K60p 対応4K カムコーダーUX シリーズ「AG-UX90」、POVCAM などを出品した。

そのほかブースでは、2K/4K スイッチャシステム「AV-HS7300/WM7400」、ニュー

スOTC コンパクトバック「AV-HS6000/SA3000」メモリーカードカムコーダー「AG-AC30」、屋外対応HD インテグレートッドカメラ「AW-HR140」、新POVCOM「AG-UMR20/UCK20GJ」、MAM ファイルベースシステム、プロフェッショナルアーカイブシステム、P 2クラウドワークフローシステム、番組切り出しシステムなどの紹介も行った。



特設のカメラコーナーにて 4K/HDR スタジオカメラシステム「AK-UC3000」「AK-UC3000S」などを紹介

ローランド

6月1日に発表したばかりの新製品「V-800HDmk2」と「XS-1HD」を中心にプロAV機器を展示。

マルチフォーマット・ビデオ・スイッチャー「V-800HDmk2」は、大幅に操作パネルの設計変更を実施。スイッチ類を耐久性が高く視認性が高い自照式のものにし、さらにメイン映像以外に別の映像を出力できるAUX BUSスイッチを追加した。

「XS-1HD」は、A4サイズの半分程度というコンパクトサイズのマルチフォーマット・マトリクス・スイッチャー。複数画面での映像演出が可能。縦と横に配列された操作ボタンで、複数の映像を直感的に操作できる。「スクリーン・モード」を切り替えると、PinP（ピクチャー・イン・ピクチャー）や背景を合成するキー合成なども行なえる。

またプロオーディオ機器では、高音質96kHz デジタル・ミキサー「Q-HRCA M-5000C」の展示を行なったほか、従来製品では人気の小型スイッチャー「V-1SDI」と「V-1HD」、オーディオ機能が充実したAVスイッチャーで「VR-4HD」なども出展した。



◀「V-800HDmk2」と「XS-1HD」▶

武蔵エスアイ

PHABRIX社製「Qx-12G/Qx-IP」を始めとして、HD~4Kまでの解像度の信号発生及び測定を紹介。「Qx-12G/Qx-IP」は、1.5G/3G/6G/12G-SDIまたはIP(ST2022-6)に対応し、HD~4K



までの解像度の信号発生及び測定機能を有する装置で、12G-SDIアイパターン測定、各種タイミング測定、波形表示、ベクター表示、HDR、WCG等の各種測定を1つのディスプレイに自由に配置して一度に監視が行なえる。



また、武蔵エスアイ製「MVX-2200/MVS-2200」のビデオサーバー（写真左）は素材を収録しながらそのファイルの再生と簡易編集が行え、スポーツ中継の撮って出しスロー、ハイライト編集等が簡単に操作できる。さらに、スタジオ内のスイッチャシステムと連動して送出を行う素材ポン出し送出にも対応可能な製品である。

テクノハウス

ConvergentDesign「apollo」、AVIWEST「DMNG APP」、Ensemble Designs「Bright-Eye NXT450」などを出展。

■ConvergentDesign「apollo」：ポータブル・マルチチャンネル・モニターレコーダ/スイッチャ。最大4chのhdビデオとライブスイッチまたは4画面表示の5番目のチャンネルを同時に記録することができ、ライブスイッチャとしても使用可能である。



■AVIWEST「DMNG APP」：スマートフォンをライブビデオ用カメラにするアプリケーションで、ライブ映像または事前に収録された映像を3G/4G回線とWi-Fiを介し、瞬時に送信することが可能。



■Ensemble Designs「Bright-Eye NXT450」：コンパクトな筐体にエンコーダ、デコーダ、マトリックスルータの機能を兼ね備えている製品で、2ヶ所の拠点にそれぞれ1台ずつ使用することで複数台のスイッチング及びエンコード/デコードのすべてを1度に行うことが可能。RTMPによるFacebookライブ配信サービスに直接映像を配信することもできる。



mogami MICROPHONE CABLE

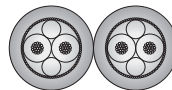
モガミ マイク・ケーブル

#24AWG STEREO MIC. CABLE

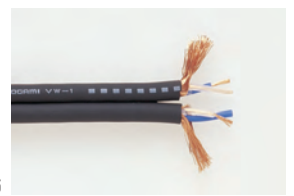
0.226mm² ステレオ マイクケーブル

ステレオ（ペア）で引き回せて、しかも分岐した後の両チャンネルのコアが通常のマルチケーブルよりも太く丈夫なものをという要望に答えて設計されたケーブルで、ドラマ取り等、常にステレオで引き回す場合に便利で、混がらが減ります。

コア径は 4.8mm で分岐した後の XLR コネクタに接続される片チャンネル単独部分にも機械的な安心感があります。また、導体には OFC を使い、静電容量も通常のマイクケーブル並に低く抑えていますので、音質的にも優れています。



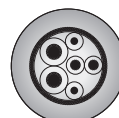
Part No.3106



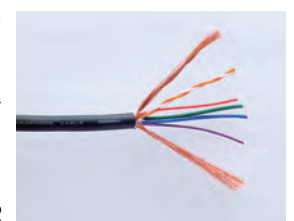
HIGHEST DEFINITION TUBE MICROPHONE CABLE

高解像度チューブ・マイクロホン・ケーブル

代表的なチューブマイクの電源回路を含めた電気回路に基づいて設計された、高音質追求型のチューブマイク専用ケーブルです。ほとんどの代表的なチューブマイクに適合します。



Part No.3172



お問い合わせ エムアイティー株式会社
E-MAIL : mit@mogami.com

PHONE : (03)3439-3755
URL : http://www.mogami.com

エーティコミュニケーションズ

好評のSDE-DISH 製超小型衛星通信装置をはじめ、革新的な新製品を展示した。主な展示製品は以下の通り。

■「CCT120 ドライブアウェイ搭載衛星中継車」：日産エルグランドの新型をいち早く採用し、専属の設計開発部門による緻密な設計がなされSNG 車化したもの。車内スペースが広く、長時間にわたる衛星運用に適している他、運転席でのワンマンオペレーションも可能。

■「CCT120 コミュークス」：スーツケースサイズに収納できるモジュラー構造の衛星通信ターミナル。SSPA（半導体型出力増幅器）は100 / 50W。自動衛星捕捉機能を搭載、Ku-Band はもとよりX-Band やKa-Band に対応する。

■「SATCUBE」：昨年デビューし大好評のノートPC サイズの平面アンテナ。ホットスワップで3 時間連続伝送が可能なバッテリーの他、高効率GaN SSPA、衛星捕捉装置、アップコンバーター、ダウンコンバーター、ヒートパイプ・クーリング装置などが1パッケージ化されている。

■「MANPACK」：SISLIVE 社製超小型衛星通信装置。完全一体型の折りたたみ式のため、バッグから出したら広げるだけでよい。ゲインが高く、多周波対応で、どの通信衛星でも使用できる。また、専用ソフトのGUI が使いやすく、衛星の捕捉が簡単のため、バッグから出して3 分で使用することができるという。

この他、本年開始予定の放送向け低価格衛星イ



ンマルサット・グローバルエクスプレスサービスおよび対応アンテナについても紹介した。



中京テレビ SR4 ランクル SNG 車の紹介



フォトロン

スポーツ中継からスタジアムまでをカバーするEVS ライブプロダクションの最新機材を紹介した。

■4K スポーツプロダクションサーバ「XT4K」は、12G / 3G-SDI による4 c h UHD-4K を実現し、12ch HD1080i / 1080p（Channel MAX 構成）、Video over IP、XAVC-4K 収録、10bit / HDR に対応する。また、筐体内蔵の大容量ストレージで、長時間の4K / HDR 中継制作を強力にサポートする。

■EVS「XFile3」：サーバ内の収録素材をネットワーク経由で他のサーバやノンリニアシステムへ受け渡しできる「XFile3」は、1つのクリップを複数のファイルフォーマットで複数の場所に同時出力できるので、HDD の正副自動同時生成などにも便利。

■マルチアングルビデオ判定用プレビューシステム「Xeebra」：誰でも操作できるシンプルなユーザインタフェースを追求したマルチアングルビデオ判定用プレビューシステム「Xeebra」は、タッチスクリーンで直感的な操作が可能のため、画面上で同期した最大16 アングルの瞬時に表示し、16 画面から4 画面・2 画面、全画面表示と自在に変更でき、素早い判定をバックアップする。また、専用コントローラーを使えば、ジョグダイヤルによるシーン検索、マークを打ったシーンの即時レビューが可能。GbE ネットワークに対応し、サーバの傍にいても、スタジアム内のどこでも使用できる他、重要な判定をする上で必要となるスーパースローカメラをサポートしており、タッチパネル上でシーンをつまむことでズームができ、簡単にレビュー



できる。

■「Epsio Paint」：スポーツライブ中継のライブ映像に簡単な操作でグラフィック効果によるプレー解説映像を即座にインサートできる演出ルール「Epsio Paint」も展示。LSM リモートコントローラのスローリプレイシステムと連携して動作し、LSM リモコン上で素材を探し、グラフィック効果をつけた箇所をキューポイントのうち、素早くグラフィック効果をつけた後に、即座にリモコン上からプレイアウトできる。また、タッチパネルでの操作も可能で、解説者席に「Epsio Paint」の操作画面を用意しておけば、ライブ中継内に解説者が説明しながらグラフィック効果をつけたプレー解説を行なうなどの、よりライブ感溢れる演出も可能になる。



EVS「XFile3」紹介コーナー



パンフレット・カタログ・冊子・ポスター・名刺・封筒・ノベルティ

企画 デザイン 制作 印刷 配布

展示会・内覧会用の小中ロット印刷ならお任せ下さい。

PDF入稿
大歓迎!!

プリンターやコピーよりも
早い・安い・きれいをモットーに
短納期と低印刷コストをお約束

当社のプリンティングサービスは
名刺から大判ポスターまで、社内一環生産をしておりますので
公表前の情報が外部へ漏れることなく安心です

uni-w
www.uni-w.com

月刊FDI発行元
株式会社 ユニワールド

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-34-9
TEL. 03(5376)7233 FAX. 03(5376)7246
URL. <http://www.uni-w.com>